

事業実施と地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 5年 1月 日

協議会名：	中井町地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>中井町には鉄道駅がなく、最寄り駅までは路線バスが運行されているが、町内の広範囲にわたり公共交通空白地域が点在している。また、丘陵地のため坂道が多く、高齢者や児童など自動車を運転できない人の移動に支障を来している。</p> <p>町唯一の公共交通手段として民間路線バスが担っているが、一部の路線では赤字となっており、日常生活に必要な最低限の交通手段の確保及び住民の移動ニーズに合った交通手段の提供といった公共交通の充実には、将来に向けた中井町全体の公共交通計画が必要である。また、通勤・通学者や高齢者などの利用者や交通空白・不便地区の住民などの地域のきめ細やかなニーズを把握し、既存の公共交通機関と連携して利便性の高い公共交通体系を構築することが必要である。</p> <p>本町では、公共交通空白地域の解消だけでなく、町全体の魅力を高め、定住・交流を促進するまちづくりのツールとして、平成25年1月から中井町オンデマンドバスの運行をしており、今後も誰もが安心・快適に移動できるしくみを検討しながら、地域公共交通の確保・維持・改善に向けた取り組みを継続していく。</p>